

一般社団法人那覇青年会議所 2026 年度 基本方針

国際交流委員会 委員長 宗像 愛

<p>会議/委員会の 基本方針</p>	<p>2026 年度 国際交流委員会は、国際交流を“世界と地域をつなぐ学びの場”と捉え、沖縄の抱える社会課題の一つである子どもの貧困や教育格差に向き合い、文化と教育を通じて地域と世界の架け橋となることを目指します。</p> <p>文化芸術や自然体験を通して、子どもたちが自らの地域に誇りを持ち、多様な価値観を学び合う機会を創出します。</p>
<p>会議/委員会の 設置背景</p>	<p>沖縄の現状に目を向けると、高齢化による医療課題、健康寿命の低下、子どもの貧困や子育て世代の貧困、地域コミュニティの希薄化など、多くの社会課題が顕在化しています。</p> <p>なかでも子どもの貧困は、教育や体験の格差を生み、将来的な地域力の低下につながる深刻な課題です。一方、グローバル社会が進む現代において、英語や異文化理解は将来の選択肢を広げる重要な要素ですが、その機会は家庭環境や地域差によって平等とは言えません。</p> <p>国際交流とは、世界を知り、同時に自分の地域を見つめ直すことです。異なる文化との出会いは子どもたちの視野を広げ、自らの文化を再発見する学びとなり、次世代を担う若者の育成につながると考えます。</p>
<p>会議/委員会の 設置目的</p>	<p>国際交流委員会は、沖縄の子どもたちが国際交流を通じて多角的な視野を育み、地域への誇りと自分自身への肯定的な感覚を高められる環境をつくることを目的とします。</p> <p>特に、経済的な理由などで豊かな体験機会を得にくい子どもたちに対して、文化・教育・国際交流の三本柱を軸に「学び」「挑戦」「つながり」を生む仕組みを構築します。</p> <p>これにより、地域の文化資源や人財を活かし、“自分の生まれた土地と自分自身を誇りに思える力”を育てることを目指します。</p> <p>また、文化芸術を媒介とした国際交流を推進することで、沖縄ならではの文化的価値を国内外へ発信し、地域課題の解決と国際的な学びの循環を生み出すことを目指します。</p>
<p>会議/委員会 概要</p>	<p>1. 沖縄文化芸術の創造発信支援事業 活用プロジェクト</p> <p>地域の伝統芸能や工芸を題材にした文化体験・教育プログラムを実施し、沖縄県の補助事業を活用して、文化芸術を媒介に地域課題の解決と国際的な発信を両立させる仕組みを構築する。これにより、国際交流・文化教育事業を継続的に展開するための基盤強化を図る。</p> <p>◆パートナー</p> <p>沖縄県、那覇市観光協会、地域文化人財、コンテンツ提供地域事業者、通訳案内士、地域協力事業者</p> <p>2. CNN 会議</p> <p>新潟 ASPAC 大会に出席し、台湾四海 JC、香港北区 JC とサマーキャンプについての協議や、姉妹 JC との連携強化と交流促進を目的に、那覇青年会議所の国際交流事業の方向性や成果を報告し、連携強化を図る。</p> <p>◆パートナー</p> <p>台湾四海 JC、香港北区 JC、シンガポール JCI Mandarin</p> <p>3. 那覇青年会議所会員 地域理解研修(例会)</p>

	<p>那覇 JC 会員を対象に、文化芸術・教育現場・国際協力分野の専門家による研修会を開催し、沖縄文化・地域資源の理解を深める。併せて、国際交流事業を担うリーダーとして必要な視点や知見を学ぶ機会を身につけ、子どもたちへの教育や交流事業に還元できる体制を整える。</p>
	<p>◆パートナー</p> <p>那覇青年会議所、那覇市観光協会、地域文化人財、文化体験提供地域事業者、通訳案内士、地域協力事業者</p>
	<p>4. かなさ Smile プロジェクト 国際交流事前研修プログラム(全4回(仮))</p>
	<p>サマーキャンプ参加希望者を対象に、英語コミュニケーション、沖縄の歴史・文化・自然理解をテーマとした研修を実施。海外児童へのガイド発表などのアウトプットを組み込み、国際理解・英語・文化教育を一体的に学べる体験型プログラムとして展開する。</p>
	<p>◆パートナー</p> <p>沖縄県、那覇市観光協会、地域文化人財、通訳案内士、地域協力事業者</p>
	<p>5. かなさ Smile プロジェクト Okinawa International Summer Culture Camp 2026</p>
	<p>台湾・香港の姉妹 JC を沖縄に招き、地域の子どもたちとともに文化体験や共同学習を行うサマーキャンプを開催。伝統文化・芸術・自然をテーマにした交流プログラムを通して、多文化理解と地域への誇りを育み、子どもたちの視野を広げる国際交流事業として実施する。</p>
	<p>◆パートナー</p> <p>台湾四海 JC、香港北区 JC、沖縄県、那覇市、観光協会、地域文化人財、コンテンツ提供地域事業者、地元旅行会社</p>

年間事業フレーム

国際交流委員会

委員長 宗像 愛

		全 国 大 会 （ 佐 賀 ）	世 界 会 議 （ チ ュ ニ ス ）		京 都 会 議 （ 京 都 ）					A S P A C （ 新 潟 ）	サ マ コ ン		全 国 大 会 （ 神 戸 ）	世 界 会 議 （ ク ラ リ ク ）		
運動・事業名	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.沖縄文化芸術の創造発信支援事業 活用プロジェクト	企画立案						相談期間	公募期間	審査期間	交付決定	補助事業期間（交付決定～2027年2月28日（仮）） ・報告・引き継ぎ ※補助事業終了が例年翌年2月28日、報告書提出翌年3月予定のため、次年度委員会への引き継ぎ必須					
2.CNN会議	姉妹JCと調整						実施準備			実施	報告					
3.那覇青年会議所会員 地域理解研修（例会）	企画立案						実施準備			実施	報告・引き継ぎ					
4.かなさSmileプロジェクト 国際交流事前研修プログラム（全4回（仮））	企画立案					協議	協議	審議	実施準備		実施	引き継ぎ				
5.かなさSmileプロジェクト Okinawa International Summer Culture Camp 2026	企画立案						協議	協議	審議	実施準備		実施	検証	報告・引き継ぎ		